

# 「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりなき緊張感

考えよう柏の防災  
Ka-Ka-Bou



ヒマワリはまちのシンボルです

2025(令和7)年1月25日/号外号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう!

風早北部地域ふるさと協議会



## 防災知識を蓄えよう～特別編

### 本気で車中避難の拡充を考えましょう

避難所の狭隘化や環境が劣悪であることなどから、公共の避難施設を嫌いマイカーでの避難を希望する住民は決して少なくありません。具体的に公共の避難所よりマイカー避難を希望する人が想定以上に多い背景には、これら公共の施設が劣悪(狭い・不衛生)環境になることだけでなく、ペットとの同伴避難が容易である、車中は狭くてもプライバシーがある程度確保でき、他人の目を気にしなくて済む、感染症拡大を回避できるなどの明確な利点が示されています。



昨年の能登半島地震では劣悪な環境下の避難所の様子が何度も報道されていました。

私どもが数年前から強く要望する**マイカー&マイテント避難**につき、柏市の防災担当部署は、①エコノミークラス症候群での死亡事故の発生、②車両移動による幹線道路の渋滞と、そのために緊急救急車両の交通障害問題をとりあげ、その導入には後ろ向きの見解が続いています。

これに対して当会防犯防災部では、①はマイテントの併用である程度は問題解消が可能であること、更に、同症候群回避用のケア活動として、ボランティアや医療関係専門家の支援による定期的体操の導入をあげています。また②については、避難行動が原則徒歩である一方で、高齢者や乳幼児連れ世帯など、徒歩移動の障害がある住民対策にはマイカー避難は欠かせないことから、事前のマイカー用の十分な駐車場所の確保と平時の定期的な実践訓練で、災害本番の混乱解消はある程度可能であると主張し、日頃のこうした実践訓練などのフォローを市防災行政が責任をもって着手すべきであると訴えます。更に、こうした駐車スペース場所界限には、必ずトイレや水屋の設置が必要であることも要望しています。

柏市内全体に、市が指定する避難所は不足しており、大規模災害が起きた場合、現有の避難所が避難住民や帰宅困難者などで大混乱になることは明らかですので、その対策は待ったなしです。早急な市防災行政の対応を求めます。

本ニュースでは、今年4月から「防災知識を備えよう」をシリーズでお知らせしますので、是非ご覧ください。

本稿はこれで終わり  
防災ネットしょうなん 1月25日付号外号